

「第68回全国青年大会」でのそば打ち体験教室・実施報告

青年団は地域に居住する20～30歳代の勤労青年によって組織され、「青年の生活を高める」ことを目標に「仲間づくり・地域づくり・自分づくり・世界平和」の活動を行っています。この全国組織として「日本青年団協議会(日青協)」があり、毎年「全国青年大会」を開催してスポーツ競技と郷土芸能などの文化活動を発表しています。

昨年に引き続いて、全国青年大会のメイン会場である「日本青年館(東京都新宿区霞ヶ丘町)」で、そば打ち体験指導を実施しましたのでその概要についてご報告します。



そば打ち体験中の青年団員

「青年団にそば打ちの楽しさを伝えて欲しい」との日青協からの依頼を受けて、全国の青年が集う、全国青年大会でそば打ち体験教を実施しました。今年は直轄事業支援員が担当し、青年団員を中心に、全国青年大会や同時開催された外苑マルシェに来場した方を対象にそば打ち体験教室を行いました。そば打ち体験された方や見学者には、都内台東区にある「全麵協研修センター」を紹介しました。そば打ち体験教室の入門者は昨年よりも10名多い49名で、「面白い」「楽しかった!」「また体験したい!」と大好評でした。

1. 日時 : 11月9日(土)・10日(日) 午前10時～午後4時
2. 会場 : 日本青年館 1階 ロビー (東京都新宿区霞ヶ丘町4-1)
3. 実施 : 直轄事業支援員(6班・8班)…8名
4. 成果と展望について

全国青年大会でのそば打ち体験教室は昨年に続いての実施であり、青年団員と来場者の方々にそば打ちの楽しさを体験してもらい、全麵協研修センターをPRすることもできました。全国各地に「郷土そば」という、各地の風土・歴史に育まれた食文化があります。地域文化の担い手は青年であり、「地域づくり」を活動目的の一つに掲げている青年団が、「郷土そば」に関心を持つことはとても大きな意義があります。

全国最大の青年組織である日本青年団協議会ですが、時代の変革期の中で団員減少に悩んでいます。青年団が地域を代表する食文化の「郷土そば」に関心を持ち、我々全麵協と連携した活動を行うことによって、新入団員の獲得や新たな地域活動につなげるのが期待されます。(報告:広報渉外部長 谷端)



日本青年館

「第68回 全国青年大会」そば打ち体験教室 記録写真



日本青年館(入口)



「全国青年大会」開会式



瑤子女王殿下お言葉



「全国青年大会」郷土芸能



外苑マルシェ



「全国青年大会」意見発表



そば打ち体験教室



直轄事業支援員メンバー